

# 県外視察 狭山市・安曇野市

## 議会視察研修

平成28年度の横芝光町議会議員行政視察は、総務経済と民生文教の二常任委員会合同で、10月18日と19日の二日間に渡り、埼玉県狭山市及び長野県安曇野市へ行ってまいりました。

一日目は、民生文教常任委員会所管の「小・中



〔埼玉県狭山市〕

学校の学校の規模と配置の適正化に関する状況」について、先進地であります埼玉県狭山市で勉強させていただきますました。狭山市では、平成19年5月に児童数の減少、学校施設の老朽化及びまちづくりの視点から小学校の統廃合について、学校統廃合検討協議会により協議が進められました。

また、中学校の統廃合についても、中学校統廃合検討協議会が設置され平成23年1月から検討協議が進められました。これにより、平成22年4月には小学校の統廃合、平成23年4月には、小学校の編入統合が行われました。中学校においても、平成27年4月、平成28年4月にそれぞれ中学校の編入統合が行われました。この統合に至るまでの細部にわたり、検討が行われた内容について説明をいただきました。

二日目は、総務経済常任委員会所管の「産地直送物産センター等を含む道の駅施設の運営状況」について、先進地の長野県安曇野市で勉強させていただきました。道の駅「アルプス安曇野ほりがねの里」の運営状況などのご説明をいただきました。この物産センターは、昭和62年6月に直売所としてほりがね村時に130名の組合員で物産センター組合がスタートし、平成8年9月の業務開始から今年で20年になります。道の駅「アルプス安曇野ほりがねの里」に認定後、平成15年3月に法人化をし、「農事組合法人・旬の味ほりがね物産センター組合」で現在に至ります。また、本年4月に、道の駅「アルプス安曇野ほりがねの里」の指定管理者となりました。理事から、「活動の理念・内容、組織構成（直売所、加工品、食堂部門）を含む運営形態」を伺いましたが、長野県一の道の駅とはいえ、組合員の高齢化と後継者不足の問題も話されておりました。当



議会からの質問にも丁寧にご回答いただき、大変勉強になりました。農産物の供給の安定維持と地産地消の推進、消費者に新鮮で安心安全な農産物と食の提供が何よりも大切であると思われました。

二日間の視察で学んだ事を、今後、当町において有効に取り組んでまいります。



〔ほりがねの里〕